

第3回母親委員会運営委員会 各班のまとめ

1班

学校での子どもの様子を、まわりの保護者から聞くようにしている。

子どもの友達を把握するようにしている。

外出のルールを親子で決めている。

父親に協力してもらっている。

子どもが反抗期なので、どう受けとめてくれているか時々不安になる。

2班

主に性についての話し合いになりました。

- ・ 小学校1年生から中学3年生まで、どのような教育をしていただいているのかが わかった。安心できた。
- ・ 子供から報告は受けるが、どんな教育をしていただいたか、プリントでもいいので いただけるとありがたい。
- ・ 親としては、性の話が言い出しにくい。
- ・ 親子で聞ける、性の話も企画として良いのでは。
- ・ 家庭でも性教育が大切なのは認識しているが、きっかけがないと切り出しにくい。
- ・ アメリカの性教育はオープンな感じ、子供は、恥ずかしがっていないが、親が遠慮している。

3班

心配ごとについて聞くと、3班は小学校のグループということもあり、「放課後、行き先を言わずに遊びに行ってしまう、なかなか帰って来ない。」「けど、せっかくお友だちと楽しく遊んでいるのに根掘り葉掘り聞いて水をさしたくはないが、詳しく知りたい気持ちもあり、葛藤してしまう。」など、子どもとのコミュニケーションのとり方に悩んでいる方が多かったです。中には、きっちり約束して出かける子でも、拾ったお金でお友だちと駄菓子を買ってしまう、どうしたものか、という話もあり、考えさせられました。

コミュニケーションのとり方では、一緒に入浴中のとき、ご飯のとき、寝る前、など皆さん工夫をされていました。1日にあった嫌なことを全部聞かされて辛いという話もあれば、あまり話さない静かでない子だと思っていたら、あやうく不良グループに入ると

ころだった…など、他の家庭の子育て話を聞いて初めて気づくことや参考になることもあり、有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

4 班

・こころの安全について

子どもがいじめを受けていても、親がちゃんと気づいてあげられるか不安。

学校での子どもの様子を、まわりの保護者から聞くようにしている。

子どもの友達を把握するようにしている。

家庭の雰囲気をもっとオープンにしよう努めている。

なかなか日頃忙しくて、子どもの話を聞いてあげられない。

まだ小学生なので、これから成長してどう変わっていくのか不安。

親子でなるべくコミュニケーションをとるようにしている。

スマホやラインのトラブルが心配。

・からだの安全について

まだ幼くて学校の性教育にピンときていない様子。

不審者対策として、知らない人との約束は守らなくても良い、と教えている。

子どもの部屋は常に開けっ放しにしている。

外出のルールを親子で決めている。

父親に協力してもらっている。

性器の洗いかたなど教えるのに戸惑ってしまう。

男子でも不審者に注意するよう子どもに話している。

何かあった時に、ちゃんと親に報告してくれるか心配。

・自己肯定感(自分を大切と思ってくれるためにしていること)について

赤ちゃんだった時の様子などを時々子どもに話す。

幼いころの写真やアルバムを時々一緒に見る。

授業参観日はなるべく行くようにしている。

たまに突然に子どもを抱きしめる。

お墓参りに必ず一緒に子どもを連れていく。

子どもが反抗期なので、どう受けとめてくれているか時々不安になる。

何をどれくらいやれば、子どもが自己肯定感をもってくれるのか、全然わからない。

5 班

○どんなことを心配していますか？

- ・学校で嫌なことがあっても、家で話さない。
- ・自己肯定感が低い。
- ・本人はその子のことが好きでかまっているのだが、いじめているように見られる。
- ・今まで仲の良かった子と急に遊ばなくなったが、その理由など何も話さない。

○どんな会話をしていますか？

- ・「毛深い」と言われてショックを受けた娘に、母親自身の体験談や対処方を話した。
- ・会話の中で「死ぬ」「自殺」という言葉が出た時には、命は大事で、あなたはとても大切だということを話す。小さい時の写真を見せて、その成長について話す。

○どんなことをすればよいと思いますか？

- ・子どもの欠点ばかりを指摘せず、その子自身を見て認めてあげる。
- ・学校で心配なことがあったら、先生に相談する。
- ・母親同士で情報交換する。
- ・子どもが性に関することを尋ねてきた時をチャンスと思って、話ができるように心の準備をしておく。

6班

6班は「2人の姉妹が近所のスーパーで名前を聞かれた」という話から始まりました。相手は普通の男性だったそうで、疑うこともなく名前を教えたそうです。今までは「怖い人には付いていけない」で良かったんですが、これからは「格好いい人・優しい人にも付いていけない」そんな指導も必要なんだと感じました。

そのほか「体と心の成長について積極的に話す」「あえてその話題にはふれないようにしている」「男の子のことはよく分からない」「家では話すのは難しいので、学校に期待する」等多くの意見が出ました。

学校教育との関わりで、5年生の男の子に「お母さん、今日生理でしょ」と言われ、少し動揺したけど、きちんと答えた。その日、学校で学習していたんです。というような具体的な話も出ました。

「一人っ子で、どんな話をしているかわからなかったのも、今日のような話し合いはありがたい」という意見もあり、このような場の必要性を感じました。

7班

子どもが言う事を聞かない時って、多数の要求をしている事が多いと思うので、出来ている事を認めながら、一つ一つ伝える必要。

心身の成長を願うなら、親都合ではなく、子どものタイミングに合わせて、指導する

事が重要。

性教育についても、年齢に応じて、正しい理解を出来るよう、家庭でも、話す事が大事な事である。

8 班

- ・ 一人ひとりの成長過程において、その子のタイミングやきっかけに合わせて、親がしっかり向き合いながら性や命の大切さを教えていくことが必要。
- ・ 思春期の子どもと親も一緒に成長していくという姿勢が大切。
- ・ 時代の変化により、子ども達の「友達」とは、「交際」とはの感覚が親とは違うので、現状を把握したうえで、子どもを見守る姿勢が求められる。

9 班

○子ども達とどんな会話をしているか

9 班のグループは性のことについて、子どもと向き合って話しをしている家庭は少なかったです。

では、どんなことをどんな時に話し合えばいいのか？

テレビで話題が出た時をきっかけにして話を切り出す。

女の子の場合、自分を大切にすることを話す。

自分を守れるのは自分しかないんだよ！と話す。

月経が始まったら妊娠する可能性があることにふれる。

学校での性教育をきっかけにして家庭でも話し合う。

性に関することは親子で話しにくいという部分があるかもしれないが、何かあったとき子どもが頼るのは親ということを考えると、家庭での性教育も重要だと感じました。

感想

お風呂はいつまで一緒に入るとか、親からなかなか切り出せないなど、細かな悩みや援助を求めるケースも少なくない。子供が無知のまま過ちをおこさないよう、学校だけに頼ることなく、しっかり言うておくことは大切なこと、また、何らかの切っ掛けや仕掛けがPTAとしても大切だと感じました。